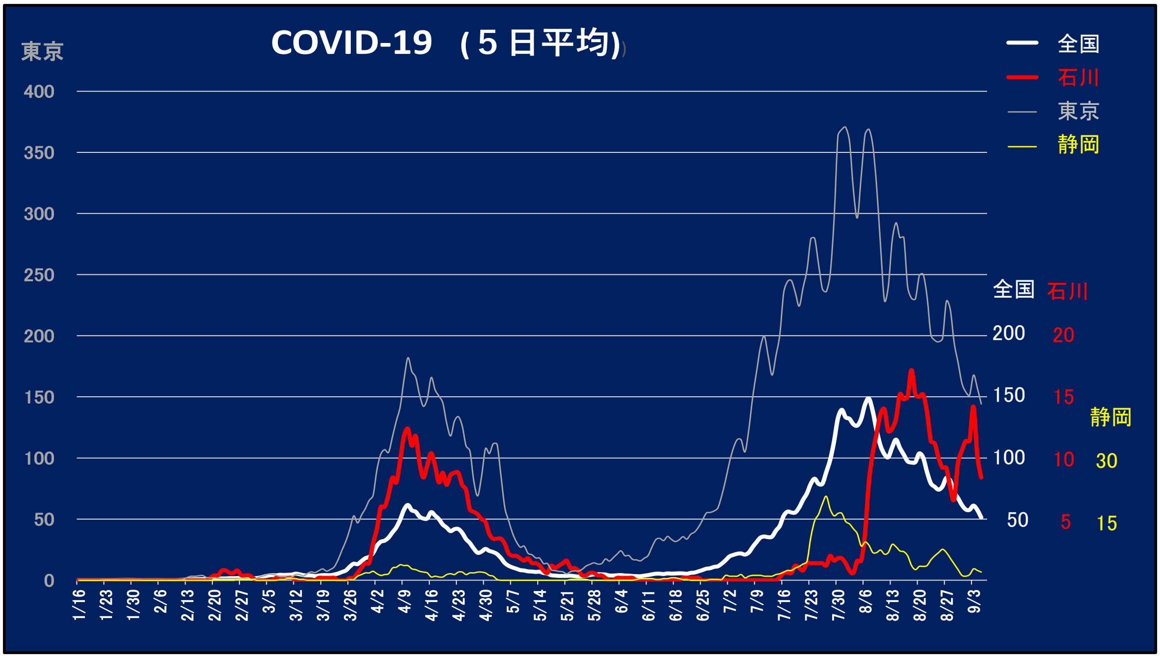
県内小児科のコロナ対策（アンケート調査）

小児科月一会
渡部礼二、中村英夫、

日本小児科医会
COI（Conflict Of Interest:利益相反）開示

発表者：渡部 礼二
利益相反に関する
開示事項はありません

令和２年９月１３日



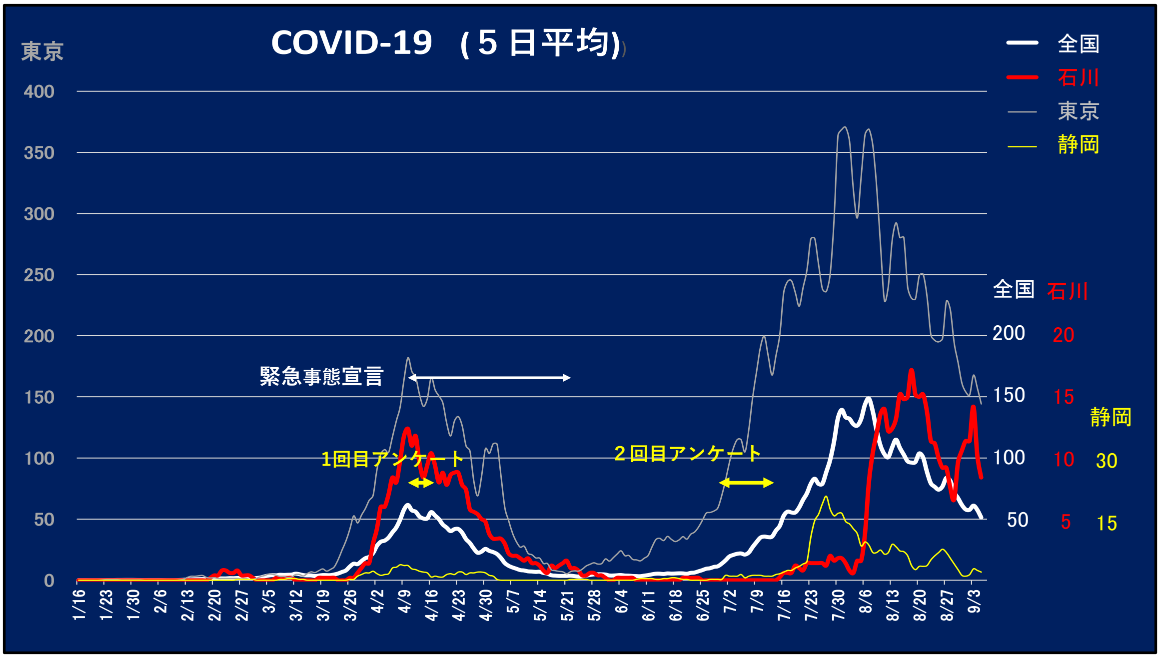
コロナが出現して９か月。これは５日平均の感染者数です。白色は全国、赤が石川県、参考に灰色は東京都、黄色は今日特別講演の田中先生の静岡県です。スケールを大体の人口当たりに合わせてあります。

医療従事者の曝露のリスク評価と対応

新型コロナウイルス感染症患者と接触したときの状況（注 1）		曝露のリスク	健康観察（曝露後 14 日目まで）	無症状の医療従事者に対する就業制限
マスクを着用している新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注 2)の濃厚接触あり				
医療従事者の PPE	PPE の着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から 14 日間
	サージカルマスクの着用なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から 14 日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	低リスク	自己	なし
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし（体位変換などの広範囲の身体的接触があった場合は 14 日間）
	推奨されている PPE をすべて着用	低リスク	自己	なし
マスクを着用していない新型コロナウイルス感染症患者と感染性期間中に長時間(注 2)の濃厚接触あり				
医療従事者の PPE	着用なし（注 2）	高リスク	積極的	最後に曝露した日から 14 日間
	サージカルマスクの着用なし（注 2）	高リスク	積極的	最後に曝露した日から 14 日間
	サージカルマスクは着用しているが眼の防護なし	中リスク	積極的	最後に曝露した日から 14 日間
	サージカルマスクは着用、眼の防護もしているがガウンまたは手袋の着用なし	低リスク	自己	なし（体位変換やリハビリなどの広範囲の身体的接触があった場合は中リスクとして 14 日間）
	推奨されている PPE をすべて着用	低リスク	自己	なし（注 3 に該当する場合は中リスクとして 14 日）

医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第 3 版　日本環境感染学会

医療従事者はゴーグルかフェイスシールドをしてマスクをしていないで、感染者を診察すると、濃厚接触者になります。



当初、情報が錯綜し、コロナの最前線では宇宙服の様な格好をした人がブラウン管から流れるも、現場ではマスクが不足、防護服が手に入らないという状況でありました。あんなごっつい恰好をして一般外来で診察しなければならないのか？。実際小児科一般ではどんな格好で外来をしているのか私自身心配になり、皆もそうであろう思い、立場を利用して、ＭＬでアンケートを取らせて頂きました。

１回目は緊急事態宣言が出された４月9日からの１週間。２回目は第二波の前の６月２９日から２週間に無記名でアンケートしました。

皆様御協力ありがとうございました。

診療所の形態は申告で５つにしましたが、集計では４つで分析しました。

アンケート	回答数/医療機関	
1） 診療形態	１回目（4/9-15）	２回目（6/29-7/15）
○ 総合病院 ○ 病院（大人も診療）	8/23	11/23
○ 病院（子供だけ）	11/2	5/2
○ 診療所（大人も診療）	25/19	15/19
○ 診療所（子供だけ）	17/29	18/29
	84.7%	67.1%

県内の常勤の小児科医のいる医療機関数を分母にして著わしてあります。なお、名称に小児やこどもが入っているものを子供だけの診療所としました。アンケートは無記名であり、この集計ではその自己申告通りで分類しております。だいたい県内の８割程度の小児医療機関から御協力頂頂きました。

4-1）常時装着（医師）

	a:現実行	b:予定	c:予定なし
マスク	○	○	○
ゴーグル	○	○	○
フェイスシールド	○	○	○
帽子	○	○	○
防護服	○	○	○
グローブ	○	○	○

このような表にチェックする形でアンケートしました。今回、この実施(a)の項目を集計しました。

Kinders 診療スタイルアンケート

			備品					
		n	マスク	ゴーグル	フェイスS	帽子	防護服	手袋
病院	1st	8	0.00	12.50	12.50	50.00	12.50	75.00
	2nd	11	81.82	81.82	81.82	72.73	63.64	81.82
病院(子供だけ)	1st	11	45.5	45.5	36.4	54.5	63.6	63.6
	2nd	5	80.00	80.00	80.00	100.00	60.00	100.00
診療所	1st	25	44.0	40.0	16.0	20.0	20.0	64.0
	2nd	15	73.33	71.43	80.00	46.67	53.33	66.67
診療所(子供だけ)	1st	17	70.6	41.2	23.5	18.8	17.6	70.6
	2nd	18	88.89	61.11	83.33	35.29	22.22	83.33

≧90%
≧75%
≧50%
<50%
実施数/回答数

1st:2020.4.9-4.15
2nd:2020.6.29-7.15

備品の準備状態です。

診療形態別で集計してあります。大人も受診する病院、子供だけ受診する病院、大人も受診する診療所、子供だけ受診する診療所です。

それぞれの上段が１回目、下段が２回目のアンケートです。

先程のアンケートの答えの実施、この備品に関しては充足（a）ですが、その回答の割合で色分けしてあります。

90％以上が青、75％以上が緑、50％以上が黄色、50％以下が赤色で表現してあります。

主に下の段の２回目のアンケートについてコメントしていきます。

この２回目のアンケートは県からガウンの配布**前**の時期であります。

Kinders 診療スタイルアンケート

1st：2020.4.9−4.15
2nd：2020.6.29−7.15

≧90%
≧75%
≧50%
<50%
実施数/回答数

		n	常時医師 マスク	常時医師 G+F	常時医師 帽子	常時医師 防護服	常時医師 手袋	常時看護師 マスク	常時看護師 G+F	常時看護師 帽子	常時看護師 防護服	常時看護師 手袋	常時事務 マスク	常時事務 G+F	常時事務 帽子	常時事務 防護服	常時事務 手袋
病院																	
	1st	8	75.00	50.00	0.00	0.00	37.50	87.50	44.44	0.00	0.00	25.00	85.71	33.33	0.00	0.00	0.00
	2nd	11	100.00	72.73	0.00	0.00	22.22	100.00	63.64	0.00	0.00	25.00	100.00	66.67	0.00	0.00	0.00
病院(子供だけ)																	
	1st	11	100.0	20.0	0.0	9.1	10.0	100.0	11.1	0.0	0.0	12.5	100.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	2nd	5	100.00	40.00	25.00	25.00	25.00	100.00	25.00	25.00	25.00	25.00	100.00	20.00	0.00	0.00	0.00
診療所																	
	1st	25	100.0	18.2	4.3	9.1	21.7	100.0	14.3	4.8	9.5	23.8	100.0	17.4	4.3	4.5	13.0
	2nd	15	100.00	53.85	10.00	10.00	36.36	100.00	46.15	10.00	10.00	50.00	100.00	33.33	10.00	10.00	27.27
診療所(子供だけ)																	
	1st	17	94.1	13.3	6.7	6.7	20.0	100.0	25.0	0.0	6.7	26.7	100.0	13.3	0.0	6.7	13.3
	2nd	18	100.00	23.53	0.00	5.88	5.88	100.00	29.41	0.00	0.00	11.76	100.00	23.53	0.00	0.00	

G：ゴーグル、F：フェイスシールド

発熱していない患児に対する医師、看護師、事務方の恰好です。ゴーグルとフェイスシールドは目の保護という観点からどちらか高い方でまとめました。

マスクはどの施設も殆どしていますが、それ以外はXです。ただ大人も来院する病院では半数は目も保護されていました。なお、患者が感染者の場合にはマスクもゴーグルもしていなければ濃厚接触者になります。

Kinders 診療スタイルアンケート

1st:2020.4.9–4.15
2nd:2020.6.29–7.15

		n	発熱時医師 マスク	発熱時医師 G+F	発熱時医師 帽子	発熱時医師 防護服	発熱時医師 手袋	発熱時看護師 マスク	発熱時看護師 G+F	発熱時看護師 帽子	発熱時看護師 防護服	発熱時看護師 手袋
病院	1st	8	100.00	87.50	25.00	50.00	62.50	100.00	87.50	25.00	50.00	62.50
	2nd	11	100.00	100.00	50.00	50.00	66.67	100.00	77.78	50.00	50.00	88.89
病院(子供だけ)	1st	11	100.0	45.5	20.0	27.3	27.3	100.0	55.6	22.2	22.2	37.5
	2nd	5	100.00	60.00	50.00	75.00	75.00	100.00	50.00	75.00	75.00	75.00
診療所	1st	25	100.0	33.3	13.0	16.7	25.0	100.0	19.0	0.0	9.1	22.7
	2nd	15	100.00	80.00	36.36	41.67	53.85	100.00	78.57	45.45	41.67	76.92
診療所(子供だけ)	1st	17	94.1	13.3	6.7	6.7	13.3	93.8	26.7	7.1	7.1	26.7
	2nd	18	100.00	35.29	0.00	11.76	0.00	100.00	41.18	0.00	5.88	11.76

≧90%
≧75%
≧50%
<50%
実施数/回答数

G:ゴーグル、
F:フェイスシールド

発熱児を診察する時の医師と看護師の恰好です。マスクは無熱の時と同様ほとんどなされていますが、それ以外に関して病院の3/4だけがクリアーしています。こどもだけの病院も診療所も成績が悪い傾向にあります。

Kinders 診療スタイルアンケート

1st:2020.4.9–4.15
2nd: 2020.6.29–7.15

		n	検査時医師					検査時看護師				
			マスク	G+F	帽子	防護服	手袋	マスク	G+F	帽子	防護服	手袋
病院	1st	8	100.00	100.00	25.00	57.14	75.00	100.00	77.78	25.00	50.00	62.50
	2nd	11	90.91	100.00	70.00	81.82	81.82	90.91	88.89	72.73	81.82	81.82
病院(子供だけ)	1st	11	100.0	80.0	44.4	63.6	60.0	100.0	80.0	37.5	66.7	77.8
	2nd	5	100.00	80.00	50.00	75.00	75.00	100.00	100.00	75.00	75.00	75.00
診療所	1st	25	100.0	58.3	17.4	29.2	50.0	100.0	30.4	13.6	21.7	52.2
	2nd	15	100.00	100.00	46.15	61.54	64.29	100.00	88.89	54.55	58.33	91.67
診療所(子供だけ)	1st	17	93.8	50.0	21.4	21.4	35.7	100.0	35.7	15.4	15.4	42.9
	2nd	18	100.00	45.45	17.65	41.18	41.18	100.00	47.06	5.88	41.18	47.06

≧90%
≧75%
≧50%
<50%
実施数/回答数

G:ゴーグル、
F:フェイスシールド

検体採取する時の医師と看護師の恰好です。前のスライドと同様の傾向にありました。病院と診療所、大人も診察とこどもだけ診察/この施設間の装備の差は、大きい組織と個人経営という違いや子供の感染者が少ないという心のゆるみがあるからなのでしょうか。

Kinders 診療スタイルアンケート

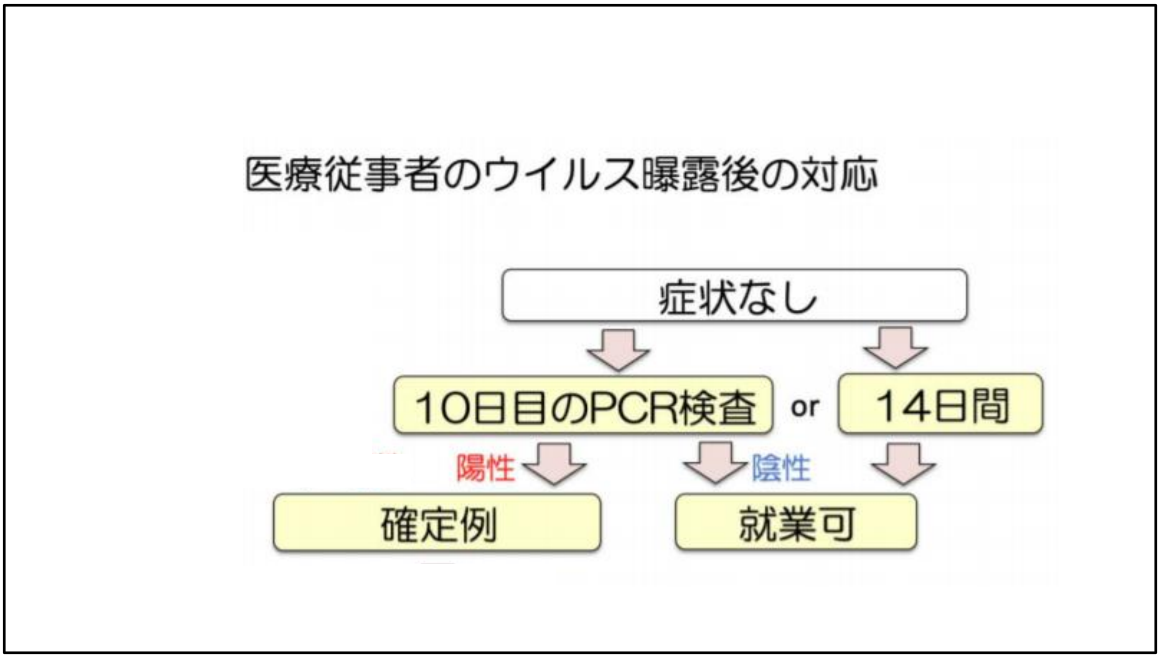
1st:2020.4.9-4.15
2nd : 2020.6.29-7.15

実施数/回答数　　以前通り実施数/回答数

			待合室		診察室	処置室	検査増減			処置増減	
		n	アルコール	マスク	アルコール	アルコール	咽頭	鼻腔	鼻かみ	検査	吸入
病院	1st	8	87.50	12.50	100.00	100.00	62.50	50.00	71.43		
	2nd	11	90.91	45.45	100.00	100.00				81.82	81.82
病院(子供だけ)	1st	11	100.0	54.5	100.0	100.0	20.0	22.2	42.9		
	2nd	5	100.00	66.67	100.00	100.00				60.00	80.00
診療所	1st	25	88.0	40.0	95.8	96.0	28.0	20.0	23.8		
	2nd	15	100.00	80.00	100.00	100.00				28.57	28.57
診療所(子供だけ)	1st	17	88.2	29.4	87.5	88.2	37.5	31.3	40.0		
	2nd	18	100.00	50.00	94.44	94.44				44.44	50.00

≧90%
≧75%
≧50%
<50%

同時に検査状況や吸2006年度日本臨床薬理学会海外研修員報告あら入治療もアンケートしたのですが、全体として検査・吸入の頻度は減少傾向にあり、特に診療所では顕著でありました。これは施設の規模による診察・処置・検査室の施設面積の違いによる性なのでしょうか。



無症状の感染者が存在し、行政から濃厚接触者にされると１４日間休まねばなりません。が、濃厚接触者の定義は厚労省では明言せず、先程の日本環境感染症学会のものを参考資料で提示しているだけです。

医療従事者の曝露のリスク評価と対応

	手袋	サージカルマスク	N95マスク	ガウン	ゴーグルまたは フェイスシールド
診察(15分未満)	○	○		○	△
診察(15分以上)	○	○		○	○
呼吸器検体採取	○	○		○	○
エアロゾル手技	○		○	○	○
環境整備	△	○		△	△
リネン交換	△	○		△	△

○:必ず使用する △:状況により感染リスクが高くなる際に使用する

医療機関における新型コロナウイルス感染症への対応ガイド 第 3 版 **日本環境感染学会**

その同じガイドラインには違う表現もあります。これは手袋もガウンも必要です。ともかくやりすぎに越したことはないと思います

自由記載

ネット予約診察に
椅子（待合室）・ 床（受付前の）にソーシャルディスタンスのマークを添付
患者さんは車待機・個室診察
病気の子との動線を完全分離
入り口に看護師を「ゲートキーパー」

こまめに手洗い、
トイレ、手洗いのペーパータオル。
待合室のおもちゃ、本、パンフレットを片付け、
定期的に院内の換気
定期的にドアノブ、待合室を消毒
受付のビニールカーテン。

検体採取時は、防護服ではなくアームカバー
待合室を透明シートで天井から床まで仕切り

アンケートの自由記載の主なものものです。参考にできるものが色々とあります。

以上であります。有難うございました。